

講演会の感想

私は経済学部同窓会のメンバーであり、教育学科とは直接的な接点はありませんが、比佐会長からご案内を頂戴し、また大学内で少人数の授業ではありますが講座を担当させて頂いている身として、ぜひ三木学長の話を伺いたいと思いついた次第です。

三木学長は4年前の学長就任以来、数々の大学改革を实践されて来た方で、飄々とした雰囲気の中にも強い意志を感じさせる方です。少子高齢化やAIの発達によって従来とは大きく変わっていくであろう世の中を見据え、今大学が何をしなければならないか、その為にどの様な改革を行ってきたか具体例を示しながら示唆に富む話を伺う事が出来ました。

青山学院＝駅伝というイメージが強い学校ではありますが、学長の話の中には駅伝だけではない青山ブランドを広めていく事で、青山学院の知名度を更に高めたいという強いメッセージを感じた次第です。

私達もOB・OGとして青山学院にどの様な貢献が出来るか、後輩たちに何を伝えて行くべきか、従来以上に真剣に考えて行かねばならないと改めて感じた次第です。（佐藤 英二 校友会大学部会副部会長）

校友会・校友会大学部会報告

校友会・校友会大学部会は、2019年度を迎え、新体制の発足とともに、将来の発展に向け、新たな歩みを始めました。教育学科同窓会は、自覚をもって、その役割を担うべく連携・協力してまいります。

◇校友会 2019年度定例代議員総会（2019年6月29日(土)開催）

- ・新会長に関根茂さん（経営学部卒業）が就任し、相川和宏前会長（3期6年）の実績を踏まえ、校友会の更なる発展に向け、新体制が発足しました。
- ・校友会は、会員が37万人に及び、部会・同窓会（大学部会・女子短期大学部会・高等部会・中等部会・初等部会・幼稚園部会）、支部（国内55支部・海外29支部）、アイビーグループ（企業人組織及び部クラブ活動・ゼミ／アドグル等の組織で活動されているOB・OGで構成）から構成されています。
- ・教育学科同窓会は、大学部会の一員として役割を担っており、常任委員として岡田純一さんが就任、又代議員には7名が就任しています。

◇大学部会総会（2019年6月7日(土)開催）

- ・新部会長に黒沼健さん（大学院理工研究科修了）が就任しました。坂本由喜子前部会長（3期6年）の実績を踏まえ、新体制の発足とともに、大学部会の発展に向け、校友会、並びに学院・大学との連携を含め、新たな課題取組がスタートしました。
- ・大学部会は、会員が23万人に及び、22同窓会から構成されています。
- ・教育学科同窓会からは、幹事に澁谷智香子さんが就任し、又代表委員として8名が就任しています。

東日本大震災復興支援コンサート（第8回）開催

・2012年（大震災2011年3月11日の翌年）に開催して以来、8回目となるコンサートには、多くの来場者（700名に及ぶ）で、ガウチャー記念礼拝堂が埋め尽くされました。被災地への思いが込められた演奏は、会場全体に大きな感動をもたらすと同時に、コンサートは、成功裡に終えることとなりました。

・大学同窓会の有志が企画運営し、その浄財は、被災地（岩手・宮城・福島の3県）の遺児孤児の教育資金として、又大学ボランティアセンターの活動資金として寄付されています。

・今年はこれまでに加え、企画運営側、出演者及び来場者のコンサートへの意識の共有と一体感が強まり、これが、コンサートの成功をもたらしています。出演者（N響のメンバー）の方から、コンサートが継続して8回にわたり開催されていることについて評価の言葉をいただき、また来場者からは、素晴らしいコンサートとのお褒めの言葉をいただいています。

・教育学科同窓会は、第3回目から参画（共催）していますが、今後とも、意義ある活動として継続的参画を心がけるものです。



N響メンバーのマティアス・ストリングスによる演奏

AGU CHAPEL CONCERT 2019 (11th) 開催

- ・青山学院の建学の精神であるキリスト教と学院への思いを込めて、大学の卒業生と在校生が奏でるコンサートで、今回で11回を数えます。
- ・3部から構成され、第1部の米山恭平牧師の礼拝があり、また第3部ではゲスト演奏の大平健介氏・長田真美氏が素晴らしいオルガン演奏を披露されました。そして、第2部 学院の歴史を訪ねる では、本多庸一先生（第2代青山学院院長）の偉業が紹介され、それぞれに、このコンサートを意義あるものとなりました。
- ・教育学科同窓会は、今後とも、AGU CHAPEL CONCERTへの参画を、心がけるものです。

青山学院大学の駅伝への思い ～我々の誇りです～

昨今、青山学院大学陸上競技部の三大駅伝における活躍ぶりは素晴らしく、それはスポーツ界だけでなく社会現象にもなっています。大学教育人間科学部（旧文学部）教育学科からは、これまで多く優秀な選手を輩出しており、それを応援する意味を含め、教育学科同窓会として、“青山学院大学の駅伝への思い”を新企画として、今回から会報上にも取り上げることとしました（これまでも、箱根駅伝の応援(寄付等)をしています）。

大学陸上競技部の創部は1918年と長い歴史を有し、今年で101年目を迎えました。しかし駅伝、特に箱根駅伝への道のりは遠く、初めて出場したのは1943年、その後1965年(41回)、そして1976年(52回)に出場しましたが、ゴールの150メートル手前で途中棄権、箱根への夢は途絶えました。



箱根駅伝のバイク中継車

大学陸上競技部に原晋監督が招聘されたのは、2004年です。就任5年後の2009年(85



2015年箱根駅伝走者のサイン

回)の箱根駅伝に33年ぶりに出場し22位、その後翌86回大会8位に躍進し、そして2015年(91回)からは4年連続の優勝と素晴らしい偉業を成し遂げました。全日本大学駅伝は、2009年(41回)に初出場を果たして以来、2016年(48回)、2018年(50回)と2度、優勝を果たしました。また、出雲駅伝でも4度の優勝。しかし2018年度は全日本大学駅伝と出雲駅伝は優勝しましたが、箱根駅伝は5連覇ならず準優勝にとどまり、三冠王に届かず、残念な思いをしました。

原監督が就任から現在に至るまで、大変な苦難の連続であったことは想像に難くなく、陸上競技部が驚異の成長を遂げた現在、監督・コーチ・選手・卒業生・学校関係者の熱意と努力、そしてサポートがあったからと推察しています。

今年(2019年)の駅伝では、1月2日、教育学科同窓会は往路4区・二宮駅周辺(小田原～平塚の間)で、岩見秀哉選手(教育学科2年)を応援しました。来年(1月2日)の午前11時前後も、同じ区間(4区)を岩見秀哉選手が走ることを期待し、幟や応援メッセージを準備し、声援する予定です。待機場所は澁谷様(副会長)宅です。

現在、陸上競技部で教育学科在籍者は7名。選手の吉田祐也さん(4年)、生方敦也さん(4年)、岩見秀哉さん(3年)、森川弘康さん(3年)、野川寛太さん(2年)、横田俊吾さん(1年)、そしてマネージャーの河野愛理さん(1年)です。

大学陸上競技部は、2019年度は「万緑の挑戦“0から1へ”」を活動テーマに、新たな目標に向け、新しい体制でスタートを切りました《主将・鈴木累人選手、副主将・吉田祐也選手、主務・上村臣平選手、寮長・竹石尚人選手》。

原監督は、“人間の能力に大きな差はない。あるとすれば熱意の差だ。行動力と情熱が人を動かす”を「座右の銘」としています。どの競技においても、選手たちが最後まで戦えるのは 応援に励まされるからです。応援によって元気を取り戻し パワーをもらい、次のエネルギーが生まれるといわれます。“チーム青山”として応援すること、そして 教育学科同窓会は、3大駅伝関係記事の掲載を通じて、今後とも、応援を続けていきます。(齊藤満智子 93年)



2015年箱根駅伝初優勝時の学内報告会

同期会・クラス会の報告

学生時代のことが蘇ってまいります。「同窓会だより」20号でも、紹介させていただきます。

1959年(昭和34年)卒業

「やあ!久しぶり」「元気そうね」 2018年の同期会もこんな挨拶で始まりました。毎年見慣れている人には「久しぶり」という言葉には力が入ります。気が合うからなのか、ヒマ人なのか(失礼!),元気な人が多いのか、同期会はほとんど毎年開いています。近年では東日本大震災の年に休んだだけ。次はお休みにしようかと提案しても、必ず「休まないでやろうよ」の声が出てきます。次回は2019年、教育学科を卒業して60年になります。60年目の記念祭をダイヤモンドジュビリーというのだそうです。年を追うごとに出欠の返信に訃報が増えてくるなか、しわだらけになったクラスメートと再会できることは貴重なひと時です。なによりも同期会に出席できることに感謝し、来年のダイヤモンドには是非出席しようと再会の思いを確認しました。(浦上 義夫)



※クラス会・同窓会がございましたら、お知らせくださいますよう、お願い申し上げます。「同窓会だより」に、掲載させていただきます

わたくしの今...

—皆さんの三行消息—

皆様からいただきましたお便りを掲載しております。近況をお知らせください。お待ちしております。



野上 富子(齋藤) 54年

2019年6月11日に88歳・米寿を迎えました。令和という新しい元号を迎え、昭和・平成・令和の三代に、時代の証人としてよく生きつづけたと親に感謝。青山学院に感謝。仕事をさせて下さった岩波書店に感謝の思いで、学長の講話をお聴きいたします。

山口 克忠 55年

ご連絡ありがとうございます。足を痛めておりますので欠席させていただきます。皆様によろしく。

海老原洋三 56年

平成6年(1994年)3月に、38年間勤務した群馬県を定年退職した後は、自称、悠々自適な生活を送っています。趣味の音楽は、主として群馬交響楽団を、またスポーツはゴルフと水泳を、そして読書は司馬遼太郎を読み直しています。

尾上悠紀子(沼田) 57年

(講演会)残念ながら欠席いたしますが、三木学長が青山学院を積極的に発信して夢をもって活躍されており、直接お考えを伺いたく思っておりました。卒業生として大いに期待させていただいており、祈っております。折角のお話が伺えず残念です。いい企画と思います。

木村 昭代(越川) 57年

今は、一人で淋しく過ごしています。とは言いながら、ユース・体操と、健康でいようと、毎週出かけております。

古賀 幸子(伊藤) 57年

要介護2・身障者3級の身体になってしまい、付き添いなしの外出ができなくなりました。ご盛会をお祈り申し上げます。

す。幹事の皆様ありがとうございます。

松野 潔 57年

教育学科同窓会が、20周年に向かって力強く歩んでいることを、心から嬉しく感謝です。(顧問)

浅川 裕子(賀来) 59年

11月4日(日)、全日本大学駅伝を我が家のテレビの前で応援しました。さすが青学!7区で森田君が東海大を抜き、梶谷君が、しっかりガッツポーズでゴールした時は、飛び上がって喜びました。

氏家 生恵(榊原) 59年

9月(2018年)に54年間ともに過ごした夫を失い、何とも悲しい・淋しい思いに沈んでおりましたが、友人・知人・周りの方々に慰められ、元気を取り戻しました。大変ありがたい思いで感謝です。

大澤 英二 59年

山梨支部の動きをお助けください。このところ、開店休業中です。若い方に引き継ぎたく思っています。(幹事 山梨支部長)

小田切幸子(太田) 59年

今年(2018年)4月、ダイヤモンド婚を迎えました。そして、10月、父33回忌・母13回忌を迎えました。何か、不思議な縁を感じています。

小俣 政満 59年

第7回目の写真展(個展)に向けて、取材を続けています。毎年行われている青学(34年組)のクラス会には常に参加しています。今年は10月30日。今から楽しみです。

國岡 英久 59年

元気です。

遠山晋一郎 59年

脊柱管狭窄症手術の後、間欠性跛行で歩行が困難になり、ｽﾀｯｸが欠かせなくなりました。現在、県立高校女子バレー部の指導を週4回(土・日・火・木)しています。高齢者(83歳)であることを気にしながら運転しています。(幹事 北東北支部長)

畠 和子(佐々木) 59年

何とか元気にしています。午前中だけ幼稚園に行っています。とうとう90歳になりました。

飛田 滋子(大野) 59年

いつもお世話になり、ありがとうございます。皆さまのおかげで出会いがあったり、感謝しております。これからもお体を大切にお過ごしくださいませ。ありがとうございます。

渡辺 稜子(森川) 59年

年齢なりに、何とか元気に過ごしております。

青木 純子(木村) 60年

青学の中高等部と一緒にいた親友の元で昨年「大正琴」の稽古を始め、夫亡き後、音のある生活に励まされています。横浜市の退職女性校長会の研修会、同僚との会、また退職公務員連盟の支部の手伝いなどで充実しています。同窓会にも参加したいところですが、先約があり残念です。

音田 朝子(元村) 60年

お便りありがとうございます。三木先生のご講演や「グリーンホーム」時代の懐かしい「モーツァルトのレクイエム」をお聴きしたり、お友達ともお目にかかりたい気持ちで一杯ですが、残念ながら所用のため、欠席とさせていただきます。

清野美佐緒(小野) 60年

「芸術・生きる力の会」を主宰し、活動しています。

富沢寿美子(武藤) 60年

図書館から借りてきた本、2分の1(5冊ぐらい)は読み終わらず、借り・返すを繰り返しています。視力が大事・時間が大事・夫も大事・自分も大事。大



切なものに囲まれています。元気に毎日を楽しんでいます。感謝です！

福重 行義 60年

83歳になり、友人知人が少なくなり、寂しくなってきました。健康維持のためストレッチ、散歩、鍼治療をしています。長崎県大村市小学校同窓会へは毎年（今年は嬉野温泉）、青学時代のクラスメートとの懇親会（年2回 新宿）と、温泉旅行・観劇を楽しみにしています。

松木やす子(桜岡) 60年

年々生きることを大切に思うようになりました。自然の中に、また今まで出会ったことのない芸術にふれることによって、自分を豊かなものにしていきたく願っています。それにはまず、心身共なる健康第一に心がけます。

小林 厚子(和田) 61年

80歳になってガツときました。青学が大好きなので、まだまだお手伝いさせていただきます。書の道は85歳までと思っています。作品書に時間がかかるようになりました。（幹事）

小林 容子(五野井) 61年

職業ボランティア活動として退公連（都退職公務員連盟）で、高齢者福祉部に所属し、調査研究をまとめています。また、地域でいきいきクラブを立ち上げ、自分の可能性を見出し、心を動かす楽しみを探しています。

島 光洋 61年

昨年末より体調が悪くなり、病院通いし、治療中です。快方に向かっている感じです。

鈴木 浩子(横溝) 61年

それなりにやっと元気で、旅にも出ています。

武用南海子(岡) 61年

今年に入り「目まい」に悩まされていますが、他は元気！元気です。相変わらず、朗読劇・コーラスのサークルで最高齢ですが、「参加に意義あり」と厚かましく頑張っています。今年は小学6年生時のクラス会で東京、シア合唱祭で横浜へ行きます。緊張が元気のもとと張り切っています。夫とともに、毎週教会へ。感謝です。

友森 和子(牛山) 61年

圧迫骨折をしたため、入院生活を送り、2年になります。歩くと腰が痛み、遠出ができません。リハビリや注射をしながら過ごしております。出席できず、申し訳ありません。

福島 征二 61年

妻が認知症になり、苦勞しながらも、何とか元気にやっております。間もなく小生も82歳、小中学校時代の同級生と、時々一杯やりながらカラオケを楽しむ程度の毎日です。

守屋 敏子(棚橋) 61年

昨年、久しぶりにガリバー記念礼拝堂

でクリスマスコンサートに出席しました。青学の精神を感じることができました（初任教精神）。（幹事）

岩田 京子(山崎) 62年

5月18日は姉の三回忌の法要を営む日なので、参加することができません。会のご盛況をお祈りいたします。

遠藤久美子 62年

日によって変わる体調に苦勞しながらも、楽しんで暮らしています。

清水 貞子 62年

週1回、特許事務所で海外商標出願等を担当しています。最近、毎日曜日午前中、油絵を習っています。昨年、「女流画家協会展」(第72回)に初出品・初入選しました。

中村 弘美 62年

このところ身内の不幸が続く、当分不在のことが多くなるため、今年で幹事を辞めさせていただきたく思います。長年お世話になり、ありがとうございました。

堀 恵子(前島) 62年

地元の江ノ電の加チャスクールで、ナルド・キン氏の英訳による日本文学や、他の英書などを、先生とお仲間と読んでいます。

村川 元子(種子島) 62年

ご無沙汰申しあげております。先年は、講演のお話をいただきながら、大変申し訳ないことでございました。ご盛会をお祈り申しあげます。

稲葉みな子 63年

ご案内ありがとうございます。緑あざやかな銀杏並木を思い出します。5月18日は既に予定が入り、欠席させていただきます。盛会であることをお祈りします。

内山貴美子(岩田) 63年

何とか、元気に過ごしております。

加藤清次郎 63年

2000年に創立にかかわった者の一人です。在校中にお世話になり、その恩返しのつもりでした。母校が活躍していることをいつも見えています。同窓会も一丸となって、バールの高い大学を目指して頑張ってください。

末廣 千秋(小楠) 64年

ボランティアですが、保育園児から高齢者までに絵本の読み聞かせをしています。選書には苦心をしていますが、楽しくもあります。

田中 シマ(益岡) 64年

同窓会のご案内、ありがとうございます。お世話ご苦勞様です。出席できなくてすみません。ご盛会をお祈りしております。

波多野 寧 64年

この頃は杖なしでも歩けるようになってきました。変わりゆく豊洲の街を楽しく散歩しています。（幹事）

南 光子 64年

元気で過ごしています。

横塚 靖子(澤野) 64年

1964年卒業のP組の皆様、お元気でいらっしゃいますか。近いうち青山学院のキャンパスでお会いしましょう。（会計監査）

大坪由紀子 65年

お世話様です。残念ながら予定が入っておりまして出席できません。

中村 珠美(菊池) 65年

介護の日々を送っています。年齢を重ねるって大変ですね！今、この現実が夢を見ている気がします。不思議です!!

松野富久子(福田) 65年

5月17日からニューヨークに旅行なので、出席できず残念です。（幹事）

佐藤千穂子(増田) 66年

三姉妹、青山卒。長女は3年前亡くなり、妹と2人、頑張っ病と闘って生きております。2人は人の手を借りつつ、自立をめざしております。母のありがたさに感謝。共通の思い出を語れる青山に感謝！

湯村 千枝(中曾根) 66年

5月18日は他用のため欠席させていただきます。小学生の孫育てをしていて学校行事や習い事の付き添い、また地域のボランティアに参加しています。我が身のメンテナンスをしながら、元気に過ごしています。

上住 操(川島) 67年

海、山が近く、息子一家と二世帯住宅で、小学生から大学生までの孫がいます

岡田 美和(山田) 67年

童研やクラスの友と会う機会があり、青山は今も私と共に。ワイズ・メンズ・クラブ(YMCA)で、ボランティア・クラブでの交わりを楽しんでいます。

奥居 洋子 67年

お墓参りで関西方面におります。どうぞよろしくお祈りします。（幹事）

小林 成樹 67年

暇を見ては、JR全線踏破にチャレンジしています。早くしないと、過疎地は廃線になってしまいます。

永橋 千之(吉成) 67年

家の中で仕事を見つけ、動き回るよう心がけ、周りの人は勿論、自分をも大切にしたいと思ひます。

福地 武子(兼子) 67年

いつもお世話をいただきまして、ありがとうございます。5月18日は東京におりませんので、申し訳ございません。欠席させていただきます。

箕輪 文江(片岡) 67年

大変なまとめ、交渉、青山学院の発展のために本当に変わらぬご尽力に、感謝と御礼をいたします。年に僅かな回数ではありますが、諸事業にて青学の正門をくぐりますと、心安らぐ思ひです。

伊藤 高正 68年

62歳で教員を退職し、以来ゴルフとスキー

